

## 第10回 会話のキャッチボールとは

2018年7月13日

男性 30 歳、女性 25 歳。ある日のお見合いの会話です。

男性「今日はお時間を取っていただき、ありがとうございます。」女性「こちらこそありがとうございます。」男性「僕から自己紹介しますね。会社は〇〇にあって、そこで△△の仕事をしています。趣味はサッカーです。今は会社の寮にいて、周りが会社関係者ばかりなので、学生から社会人までいるサッカーチームに入っています。土日は、ほとんどサッカーをやっています。」女性「私は、実家は〇〇ですが、実家と会社の間あたりで一人暮らしをしています。仕事は〇〇関係で、事務をしています。車が好きなので、運転はそんなに自信はないのですが、ドライブが趣味です。」

こんな感じで2人の会話は始まり、1時間、会話が途切れることはありませんでした。



女性「好きな食べ物は何ですか？」男性「お寿司です。」女性「ダメだ〜。料理は好きだけど、私、お寿司は握れないなあ。」男性「いやいや、大丈夫ですよ。さすがにそれは求めませんから。もしお寿司が好きなら、今度一緒に食べに行きませんか？」

男性「今日は、すごく夏らしい服装で素敵ですね。ファッションに興味はありますか？」女性「はい。でも結構好みが偏っているので、同じ様な洋服ばかりになってしまいます。〇〇さんこそ、すごく上手に着こなしていますよね。最近買ったお洋服は何ですか？」

2人の会話が途切れない訳は、このように“会話のキャッチボール”ができるように、相手が答えやすい質問をしていることと、答えるときも、後に続くように質問で答えているからです。

特に感心したのが、相手に興味を持っていると分かるような会話をしていたことです。



相手のことを良く見て、良く聞くことですね。

もちろん感じの良い態度が一番大事です。

この日、2人は連絡先を交換してお見合いは終わりました。

きつこの後、2人ともすぐにお礼のメールを送りあったはずでした。